

令和8年度重点取組事項



林野庁 九州森林管理局
大分森林管理署
大分西部森林管理署

目 次

大分県下の国有林は、大分森林管理署と大分西部森林管理署が管轄し、県内に所在する約4万3千haの国有林野と約3千haの官行造林地の管理経営を行っています。

森林・林業や国有林野事業に対する国民の多様な要請と期待を踏まえつつ、「国民の森林(もり)」として、公益重視の管理経営を一層推進するとともに、その組織・技術力・資源を活用して民有林に係る施策を支え、森林・林業施策全体の推進に貢献するための取組を推進します。

公益重視の管理経営の一層の推進

- ① 公益的機能の発揮に向けた適切な森林整備の推進 1P
- ② 治山事業の計画的な推進と迅速な災害対策 2P
- ③ 地域と連携したシカ等鳥獣被害対策 3P
- ④ 貴重な森林生態系の保全・管理 4P

森林・林業施策全体の推進への貢献

- ⑤ 林産物の安定供給と一貫作業システムの導入 5P
- ⑥ 花粉発生源対策の推進 6P
- ⑦ 林業の低コスト化等の実践と民有林への技術支援 7P

- 令和8年度 大分県下国有林主要事業量等の概要 8P

公益的機能の発揮に向けた適切な森林整備の推進

国有林野の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営を一層推進するとの方針の下、国有林を重視すべき機能に応じた適切な施業を推進しており、国土の保全等の公益的機能の発揮に向けて、間伐の適切な実施や主伐後の確実な更新を図るほか、育成複層林への誘導や針広混交林化を進めるなど、多様な森林を育成するとともに、林地保全や生物多様性に配慮した森林づくりに取り組んでいます。

また、資源の循環利用にも配慮のうえ、公益重視の管理経営を推進するために必要な施業を計画的に実施していきます。

◆多様な森林づくり「見える化」プロジェクトの推進

国有林では、自然条件や社会的条件等を踏まえた将来の目標林型（人工林、天然林（うち利活用する天然林））と、それに向けた適切な施業方法について、地域毎に実情を踏まえた検討を行っています。

その中で、特にこれまで実績の多くない育成複層林施業や天然更新による森林づくりについて、施業コストや技術的な検証を継続して積み重ねる必要があることから、熊ヶ谷国有林等に、多様な森林づくりを進めるための課題や改善策等を検討のうえ実践する「見える化」区域を設定し「見える化プロジェクト」として取組を進めています。

今年度は引き続き、育成複層林への誘導に向けた誘導伐や植栽、モニタリング調査に取り組みます。



面的複層林施業実施箇所（熊ヶ谷国有林：豊後大野市）

◆地球温暖化対策への取組

我が国の温室効果ガス削減目標の達成や2050年カーボンニュートラルの実現に貢献するため、間伐等の森林整備や主伐後の確実な再造林等の森林吸収源対策に積極的に取り組んでいます。

また、庁舎整備や森林土木工事における木材利用の推進にも取り組んでいます。



間伐実行箇所（龍王国有林：豊後大野市）



CLTや地域材を活用し、省エネ性にも配慮した大分森林管理署の新庁舎（令和8年2月完成）

◆路網整備の推進

森林の適切な整備や保全、林産物の供給等を効率的に行うため、施業の計画や林地保全等にも十分配慮しながら、林業専用道等と森林作業道を組み合わせた路網の整備を行っています。

今年度は林業専用道3路線の470mの新設を行います。



林業専用道新設工事実行箇所（鷹巣山国有林：豊後大野市）



建築中の大分森林管理署庁舎

地元工業高校の見学会

治山事業の計画的な推進と迅速な災害対策

国有林野事業では、地域の安全・安心を確保するため、関係機関との連携に努めながら、治山事業による荒廃地の整備や災害復旧等を計画的に進めています。近年、山地災害が多発していることを踏まえ、「森林整備保全事業計画」等に基づき、山地災害危険地区や重要インフラ周辺等において治山対策や森林の整備に取り組みます。また、山地災害発生時には、ヘリコプターによる被災状況の調査を迅速に行い、早期の災害復旧に取り組みます。

◆令和8年度は、溪間工事25箇所、山腹工事0.95haの治山事業に取り組みます。

◇令和7年度施工箇所の概要



施工前の状況

兵戸山国有林（日田市）



施工後の状況

◆令和8年度 大分県下国有林治山事業施工予定箇所

区分	種別	施工箇所（国有林名）	数量	市町村
復旧治山	溪間工・山腹工	由布鶴見岳	5基・0.64ha	由布市
復旧治山	溪間工	鶴見嶽	3基	由布市
復旧治山	山腹工	後山	0.11ha	佐伯市
復旧治山	溪間工	石垣鶴見	8基	別府市
復旧治山	溪間工	由布鶴見	4基	別府市
復旧治山	溪間工	兵戸山	2基	日田市
復旧治山	溪間工・山腹工	湯坪涌出山	1基・0.20ha	九重町
復旧治山	溪間工	九重山	2基	九重町

◆災害発生時の迅速な対応

台風や集中豪雨等により大規模な災害が発生した際には、ヘリコプターやドローンを活用した被害調査や専門的な知識・技術を有する職員の被災地への派遣など地域への協力・支援に迅速に取り組みます。



ヘリコプターによる被害調査



ドローンを活用した被害調査

地域と連携したシカ等鳥獣被害対策

植栽木や下層植生へのシカによる食害は継続して発生しており、森林・林業への深刻な被害を防止するため、地域の関係者と連携を図りながら、個体群管理（捕獲）、防護柵等の設置、被害を受けた森林の回復、ICTを活用した効果的な捕獲技術の普及等、手段を組み合わせた対策を総合的に推進しています。

また、近年ではウサギの食害も見られ、この対策にも取り組む必要があります。

引き続き地域の関係者と連携のうえ、協定や委託事業による捕獲、植栽木保護のための防護柵の設置などに取り組みます。

◆協定や委託事業によるシカ捕獲

豊後大野市、佐伯市、竹田市、由布市、別府市、九重町、各猟友会及び久大林産とシカ捕獲に係る協定を締結し、地域と連携したシカ捕獲に取り組んでいます。

協定では、猟友会へのくくりワナや林道ゲートキーの貸与など、関係者と連携し、効率的、効果的なシカ捕獲に取り組みます。

また、城岳国有林（由布市）や人見山国有林（宇佐市）等において、シカ捕獲委託事業に取り組みます。

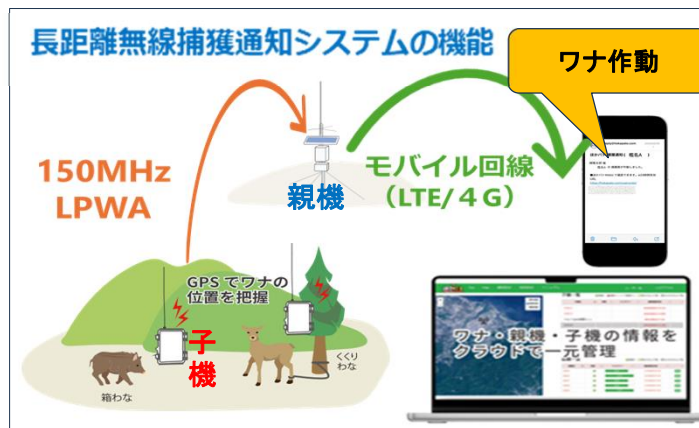


大分西部森林管理署・九重町・大分県猟友会玖珠郡支部九重町4分会との協定締結調印式

◆ICTを活用したシカ捕獲

捕獲は、ワナの見回りに大きな労力を要することが課題でしたが、令和2年より長距離無線式捕獲パトロールシステムを導入し、見回り労力の軽減を図りました。これによりワナの設置数を増やすことができ捕獲頭数も増加するなど、業務の効率化に繋がっています。

親機の設置が大分県及び関係市で9機、大分署で2機、大分西部署で5機の合計16機と、ほぼ県全域で捕獲通知システムの電波が届く状況となり、関係者と連携し、効果的なシカ捕獲に取り組んでいます。



◆植栽木の保護対策

植栽木をシカ等の食害から保護するため、防護柵の設置等に取り組んでいます。防護柵の設置に当たっては、資材別のコストや設置効率の比較・検証を行うなど、低コストで効率的な設置に努めています。



ネットの違いによる設置コスト、効率性の比較・検証（野上平家山国有林：九重町ほか）



シカネット比較試験地検討会（森平家山国有林：玖珠町）

◆大分県下国有林年度別シカ捕獲頭数

区分	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	計
職員による捕獲	180	143	192	270	163	126	125	193	1,392
協定に基づく捕獲	441	522	404	492	333	1,752	899	4,048	8,891
委託事業による捕獲	186	121	261	204	200	164	76	161	1,373
計	807	786	857	966	696	2,042	1,100	4,402	11,656

貴重な森林生態系の保全・管理

国有林野事業では、森林生態系における生物多様性の保全を図るため、「保護林」の設定やモニタリング調査等を通じた適切な保全・管理を推進するとともに、多様な森林づくりの推進や森林の適切な保全・管理、施業現場における生物多様性への配慮等に取り組んでいます。

また、登山利用などによる入山者の集中により植生の荒廃等が懸念される国有林野においては、「グリーン・サポート・スタッフ（GSS:森林保護員）」による巡視やマナーの啓発活動やミヤマキリシマの生息環境の保護のための刈り出し作業を行うなど、貴重な森林生態系の保全・管理に取り組んでいます。

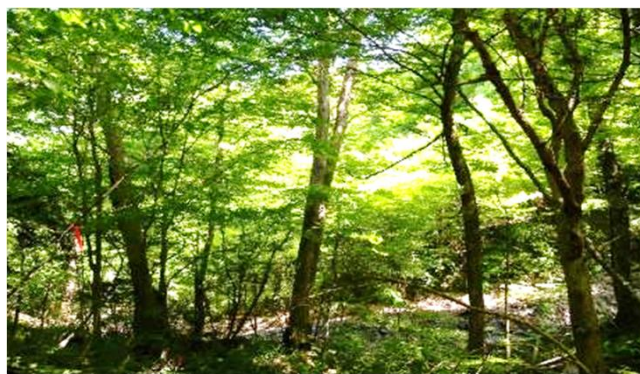
◆保護林の設定及び保護・管理の推進

国有林では、我が国の気候または森林帯を代表する原生的な天然林や地域固有の生物群集を有する森林、希少な野生生物の生育・生息に必要な森林を「保護林」に設定し、厳格に保護・管理を行っています。

大分県内には、森林生態系保護地域をはじめ4箇所、約3,143haの「保護林」を設定し、定期的にモニタリング調査を行い、現状を評価し今後の状況変化を想定したうえで適切な保護・管理を実施しています。



祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域



権現岳シオジ等遺伝資源希少個体群保護林

◆大分県内保護林設定状況一覧

名称	国有林名	面積(ha)	特徴等	市町名
祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態系保護地域	傾山・夏木・神原祖母山・鑛山・小河内・上畑奥岳・滞迫奥岳・尾平	3,030.89	アカガシ、ウラジロガシ等の常緑広葉樹林から冷温帯湿潤気候の極相であるブナ林など、我が国の気候帯を代表する原生的な天然林の保護・管理	竹田市 豊後大野市 佐伯市
柏山アカマツ遺伝資源希少個体群保護林	柏山	32.95	高齢級日向アカマツ天然林の保存	佐伯市
権現岳シオジ等遺伝資源希少個体群保護林	権現岳	70.45	日田地方で希少なシオジ、ケヤキ、ブナの個体群の保護、遺伝資源の保存	日田市
兵戸山モミ等遺伝資源希少個体群保護林	兵戸山	8.37	モミ、アカシデ、ミズナラ、ブナ、コハウチワカエデ等を主体とした高齢級天然林個体群の保護、遺伝資源の保存	日田市

◆グリーン・サポート・スタッフによる巡視活動

登山利用など入山者の集中により、樹木の損傷や植生荒廃等が懸念されるくじゅう地域の国有林野において、今年度もグリーン・サポート・スタッフによる巡視や植生保護のための規制

ロープの整備、入林マナーの啓発活動等に取り組みます。

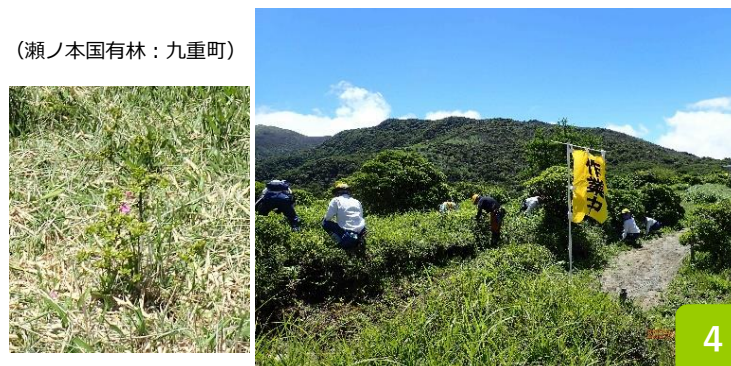


(久住山国有林：竹田市)

◆ミヤマキリシマの刈り出し作業

ミヤマキリシマは、九州の標高約1000メートル以上の山地に生育するツツジの一種で、国の天然記念物に指定されているほか、九重町の「町の花」にも指定されています。毎年5月から6月にかけて見頃を迎えると、山一面がピンク色に染まり多くの登山客で賑わいます。

ミヤマキリシマの生育環境を改善するため毎年刈り出し作業に取り組んでいます。



(瀬ノ本国有林：九重町)

林産物の安定供給と一貫作業システムの導入

国有林野事業では、公益重視の管理経営を一層推進しつつ、地域における木材安定供給体制の構築等が図られるよう、機能類型区分に応じた適切な施業の結果得られる木材の持続的・計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献することとしています。

◆木材の持続的・計画的な供給

令和8年度は、大分県下各地の国有林において、生産事業の実施により素材（丸太）生産46,000m³を計画しており、素材（丸太）の販売については、公募によるシステム販売44,800m³、木材市場での委託販売1,200m³に取り組みます。立木販売は、官行造林等を含む立木材積約78,709m³を公売予定です。



◆伐採と造林の一貫作業システムの導入

国有林では、伐採と造林（植付）を同時に発注する「一貫作業システム」を導入し、再造林コストの低減に取り組んでいます。

伐採・搬出で用いる機械を活用した地拵えの省力化や資材（苗木）運搬等により作業効率を上げ、更に伐採と地拵の期間が短くなることで初回下刈りの省略ができ、経費削減にも繋がります。

令和8年度は、42haを計画しており、このうち、18haがスギ花粉発生源対策としての「重点区域に準じた国有林」において実施する計画です。

なお、今後は立木販売と造林請負の混合契約の可能性についても検討しています。



グラブで地拵えを実施

フォワーダでコンテナ苗を搬入

花粉発生源対策の推進

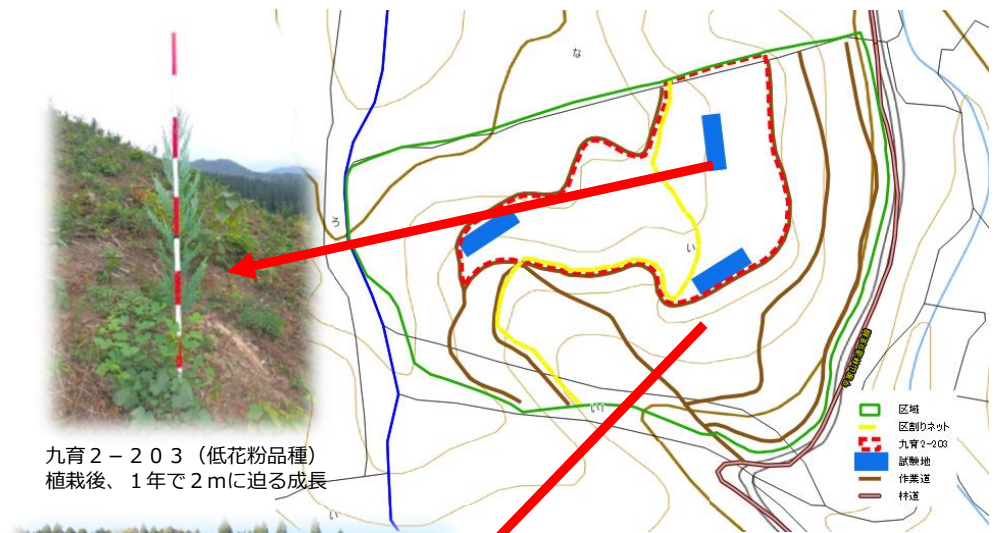
国有林野事業では、スギ花粉発生源対策を推進するため、都道府県が設定するスギ人工林伐採重点区域を含む市町村に存する国有林を「重点区域に準じた国有林」とし、国土保全等に配慮しながら、計画的な伐採・植替えを進めるとともに、地域の要請も踏まえつつ、成長に優れ花粉の少ない特定苗木等の活用を進めています。

◆特定苗木等花粉の少ない苗木の活用等

大分県は主伐期を迎えた人工林が年々増加しているものの、再生林に必要な苗木の県内生産割合は約60%で推移しており、他県からの供給を得て対応している状況です。

この様な状況を受け、令和6年度からスギ花粉発生源対策として、特定苗木（大分県推奨品種）等を国有林に植栽しており、将来その造林地から穂木が採取できることを期待しています。

※ 大分県では、早生樹による再生林を推進しており、特定母樹の中で特に花粉の発生量が少ないスギ品種等を県の推奨品種に選定しています。



九育2-203（低花粉品種）
植栽後、1年で2mに迫る成長



高岡署1号（少花粉品種）



シャカイン（大分県認定低花粉品種）
山取り造林地



苗木生産者による花粉の少ない品種の育苗

花粉の少ないスギ苗木の活用状況

年度	品 種	花粉の少ないスギ苗木の植栽割合
6年度	高岡署1号(特)、シャカイン外	71%
7年度	高岡署1号(特)、県薩摩5号(特)外	95%

※（特）は特定苗木

◆佐伯市林業振興協議会での国有林の活動

佐伯市では、森林資源の循環利用を図る「佐伯型循環林業」を推進する中で、花粉の少ない苗木への植替えに取り組んでいます。

大分森林管理署は、佐伯市が設置している佐伯市林業振興協議会に参画し、国有林の造林地における現地検討会の実施など、技術支援に積極的に取り組んでいます。

また、今年度は佐伯市傾山地域森林整備推進協定に佐伯広域森林組合を新たに協定者として迎える等により、民国連携した取組を推進します。



佐伯市林業振興協議会の現地検討会



佐伯広域森林組合との打合せ

林業の低コスト化等の実践と民有林への技術支援

国有林野事業では、森林・林業全体の推進に貢献するため、林業の低コスト化等に資する技術開発に取り組んでおり、その成果については、森林管理署等で事業展開を図りつつ、現地検討会等を通じて民有林への普及・定着に努めています。

また、国有林野の多種多様なフィールドの提供を通じて民有林の人材育成支援に取り組むとともに、森林・林業関係の教育機関からのインターンシップ受け入れを実施しています。

◆下刈り方法を工夫したシカ対策の試行

シカ生息地において植栽木の保護は必須であり早急に解決すべき課題です。

令和6年度より試行的に、シカ防護柵の内側1~5mの下刈りを行わず植栽木をシカから見えなくすることでシカの侵入を防ぐことができるかについての検証に取り組んでおり、今年度も継続調査を行います。



◆現地検討会の開催やインターンシップの受け入れ

県、市町村及び林業事業体を対象に、新しい林業の普及に向けた現地検討会等を開催します。森林管理署の業務を体験してもらい、国有林野事業や林野行政等に対する理解を深めてもらうため、インターンシップの受け入れを実施しています。



テリジノロボ（植付）



シンラブル（遠隔操作で伐倒及び集材）



アマルガロボ（下刈り）



インターンシップ受け入れ

令和8年度 大分県下国有林主要事業量等の概要

【大分北部・西部・中部・南部流域】

区 分		単 位	7年度当初	8年度当初	対前年度比	8年度当初内訳	
			A	B	B/A (%)	大分署	大分西部署
収穫量	主伐	千m ³	111	114	103	69	45
	間伐	千m ³	205	200	98	130	70
	計	千m ³	315	314	100	199	114
木材の販売	立木による販売	千m ³	90	79	88	51	27
	丸太による販売	千m ³	46	46	100	23	23
森林の造成	植付	ha	31	65	210	23	42
	苗木本数	万本	6	14	233	6	8
	下刈	ha	184	160	87	45	115
	つる切り	ha	—	—	—	—	—
	除伐	ha	68	51	75	20	31
	保育間伐 (高齢級含む)	ha	533	347	65	164	183
林道等	新設	m	300	470	157	370	100
治山	国有林野内直轄	千万円	12.8	15	117	8	7